

平成22年度 農村環境技術研修【生態系保全(基礎)コース】 募集要領

[研修目的]

土地改良法においては、事業の施行に当たって「環境との調和に配慮」することが原則とされ、全国の農村地域では数多くの生態系に配慮した土地改良施設が整備されています。

生態系に配慮した施設の調査～計画～設計～施工段階における生態系保全の考え方と具体的な手法や工法については序々に普及してきたものの、維持管理段階では具体的な管理の手法や考え方について、現場での対応に苦心している状況をお聞きいたします。

当センターでは、こうした状況に鑑み、農業農村整備事業に係わる方々を対象に、生態系を保全するうえでの基礎的な知識の習得と、生態系保全施設の維持管理技術の向上を図ることを目的として標記研修を開催致します。

[主催] 社団法人 農村環境整備センター

[日時] 平成22年7月1日(木) 13:00～18:00(12:00開場)
7月2日(金) 9:00～12:10(8:40開場)

[場所] 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 417号室
(東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL 03-3467-7201)
ホームページ→ <http://www.nyc.go.jp>

[対象者]

農村地域の生態系保全に取り組んでいる現場技術者の方々を中心に、NPO等や農地・水・環境保全向上対策の活動で生態系保全施設の維持管理に取り組んでいる団体、また、これらの活動を支援、促進する行政組織等

[定員] 200名

[内容] *カリキュラムは3ページ目をご参照ください。

【1日目】農村地域の生物多様性とはどのような意味を持ち、なぜ保全する必要があるか等の基調講演と、農業生態系における外来生物に関する基礎的な内容、水田生態工学の現状、農村地域における生物多様性保全の取り組みなど、具体例を交えた分かりやすい内容での講義。

【2日目】順応的管理^{*}についての講演と、生態系保全施設の計画～施工～維持管理に関する先進地区の事例紹介。(※順応的管理：モニタリング結果により得られた情報を収集し、必要に応じて施設の補修や改良を行う管理)

[申し込み方法]

- ・ (社)農村環境整備センターのホームページ (<http://www.acres.or.jp/>) にアクセスし、本研修の『申込フォーム』に必要事項を入力の上、申し込みを行ってください。
- ・ 申し込み頂いた方には確認のメールとともに詳細のご案内をお送りいたしますので、メールアドレスはお間違いの無いようご記入願います。

[申し込み受付期間]

- ・ 申し込み受付期間は、**6月7日(月)～6月21日(月)**もしくは**定員に達した時**とさせていただきます。
- ・ 定員に達した場合は、同上ホームページにてお知らせします。

[参加費等]

- ・ 研修の参加費は無料です。
- ・ 情報交換会へ参加される場合は会費 3000 円となっております。

[その他]

- ・ 宿泊の斡旋や昼食の手配については致しませんので、各自ご手配ください。
- ・ 本研修は CPD (農業土木技術者継続教育プログラム) の認定申請中です。

[問い合わせ先]

社団法人 農村環境整備センター 担当：稲田 (いなだ)
TEL : 03-5645-3671 FAX : 03-5645-3675

【生態系保全(基礎)コース】情報交換会のご案内

1 日目の研修終了後、以下の要領で情報交換会を開催いたします。農業農村整備に関する技術者相互の意見交換など、幅広い情報交流が可能な場となりますので、ぜひふるってご参加下さい。

期日： 7月1日(木) 18:30～20:00 頃

場所： オリンピックセンターD棟 9F レストラン さくら

費用： 3000 円 (受付にて徴収いたします。)

申込： 研修会の申し込み時に、情報交換会に「参加」とご入力下さい。なお、キャンセルされる場合、必ず事前(3日前まで)にご連絡ください。ご連絡いただけない場合、代金をお支払いいただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

その他： 当日、名刺を入れる名札をお渡ししますので、名刺をご持参下さい。

平成22年度 農村環境技術研修【生態系保全(基礎)コース】

- 日時：平成22年7月1日（木）13:00～18:00（12:00 開場）
7月2日（金）9:00～12:10（8:40 開場）
- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター セ-417号室



平成22年度 農村環境技術研修【生態系保全(基礎)コース】カリキュラム

月 日	コマ	時間帯	テーマ（仮題）	講 師
7/1 (木)		12:00～	受 付	
		13:00～ 13:10	あいさつ	(社)農村環境整備センター 専務理事 関岡 英明
	1	13:10～ 14:20	農村地域における生物多様性の保全とその意義	名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 夏原 由博氏
	2	14:30～ 15:30	水田生態工学の現状	宇都宮大学 農学部 教授 水谷 正一氏
			休 憩（20分間）	
	3	15:50～ 16:50	農業生態系における外来種の影響と対策	滋賀県立琵琶湖博物館 主任学芸員 中井 克樹氏
	4	17:00～ 18:00	農村地域における生物多様性保全の取り組み ～行政による支援の在り方の観点から～	兵庫県農政環境部 農林水産局 農業改良課 環境創造型農業専門員 西村 いつき氏
		18:30～ 20:00	情報交換会（会場：オリンピックセンター内）	
7/2 (金)		8:40～	受 付	
	5	9:00～ 10:00	環境配慮に関わる土地と施設の維持管理のあり方 ～順応的管理を念頭において～	岩手大学 農学部 教授 広田 純一氏
	6	10:10～ 11:40	順応的管理に取り組んでいる先進地区事例の紹介 ・ 静岡県 磐田用水東部地域 ・ 石川県 石川地域 ・ 福井県 ふくい地域	磐田用水東部土地改良区 事務局長 長島 康男氏 石川県農林水産部農業基盤課 主任技師 永森 洋樹氏 福井県丹南農林総合事務所 農村整備部 整備課 課長 前野 正博氏
	7	11:40～ 12:10	センター取組紹介 ・ 水田魚道を通じた水域ネットワークの再生をめざして	(社)農村環境整備センター

- ※ それぞれの講演の間に10～20分間の休憩をはさみます。
- ※ 7/1（1日目）の情報交換会は任意参加となっております。
- ※ 本研修はCPD（農業土木技術者継続教育プログラム）の認定申請中です。